

埼玉親善大使レポート

カリフォルニア州サンディエゴ
(アメリカ合衆国)

清水良介

2018年8月末に出国してからおよそ半年が経ちました。私はアメリカのカリフォルニア州にある、カリフォルニア大学サンディエゴ校の大学院で博士課程の正規学生として留学しています。このレポートでは、サンディエゴでの生活と、この半年間に大学でしてきたことをご紹介します。

サンディエゴでの生活

サンディエゴはアメリカ西海岸のカリフォルニア州の南端に位置し、メキシコと国境を接しています。実際サンディエゴの中心部から南に 20km ほど行くとメキシコとの国境に行けます。サンディエゴの気候は、一般的には温暖で過ごしやすいと思います。冬でも最低気温 10℃前後で日本ほど寒くはないです。しかし、冬の時期は雨が多く、特に今シーズンは毎週雨が降っているほどでした。サンディエゴでは、地理的にヒスパニックの方が多いのですが、アジア人も多いです。街にはアジア人街があり、日本、韓国、中国のマーケットやレストランがあります。ですので、幸か不幸か日本の食べ物が恋しくなるということはありません。ということで、サンディエゴは日本にいるときに近い環境を作ることができるので、留学が初めてで海外になじめるか心配という方は、おすすめです。ロサンゼルスほど人が多くないのも魅力です。一方で、海外で自分を鍛えたい、という方には少し物足りないかもしれません。

大学生生活

昨年 8 月に渡米してから、こちらでの生活は 90%以上ととってもいいほどを大学での研究・勉強に費やしています。私の研究グループはリチウムイオン電池に関する研究を行っており、電池の新しい材料や、新しい作り方を探り、現在ある電池の性能を向上することやより安価な材料で代替することを目指しています。また、電池内部のメカニズムを探るために、新しい手法も探っています。グループの学生はアメリカ以外にも中国、韓国、インド、フランス、イランなど多くの国から来ており、お互いに切磋琢磨しながらも助け合いながら学んでいます。その中で日本人は私しかいないので少数派です。秋学期や冬学期などの学期中は日中授業があるので、平日の夜や時には土日を使って実験をすることもあります。アメリカでは感謝祭やクリスマスは祝日（働かない日）ですが研究室は稼働しており、数は少ないですが大学院生は働いています。正直に申し上げると、8 月末にサンディエゴに来てから、このようにほとんど研究と授業に時間を費やしており、観光などをする余裕が全くありませんでした。このレポートのサンディエゴ情報が充実していないのはそのせいです。笑

最後に

今回奨学金をいただき、このような機会をいただけて大変感謝しております。正直に申し上げて、アメリカの学費は非常に高額であり、このような経済的なサポートは大きな助けになりました。最後に留学を目指す方にメッセージを。私がアメリカに来てから使った英語や専門知識はすべて日本で中学、（埼玉県立）高校、大学で学んできたものです。留学を考えている学生は、どんな科目であれ、いま自分が興味あることを一生懸命勉強すれば、それがきっと将来役に立ちます。頑張ってください！



大学付属の図書館である、ガイゼル図書館。その形から宇宙船と呼ばれることも。



サンディエゴからの「初日の出」ならぬ「初日の入り」



筆者が主にいる工学部キャンパス。中央奥にあるのが図書館。右上の建物の上ののった家も何かのモニュメント（中の見学も可）。